2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　デンカ株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4061　URL　https://www.denka.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）石田　郁雄
問合せ先責任者　（役職名）コーポレートコミュニケーション部長　（氏名）山本　浩之　（TEL）03(5290)5511
半期報告書提出予定日　2026年11月９日　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	208,721	6.1	24,709	153.7	21,170	211.7	6,930	77.6
2026年３月期中間期	196,699	△1.2	9,740	3.8	6,791	21.8	3,902	15.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　8,634百万円（　－%）　2026年３月期中間期　△1,336百万円（　－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	80.41	－
2026年３月期中間期	45.28	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	718,047	342,084	44.0
2026年３月期	681,006	338,826	45.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　315,801百万円　2026年３月期　310,709百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	50.00	－	50.00	100.00
2027年３月期	－	50.00			
2027年３月期(予想)			－	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	10.6	37,000	41.1	26,000	34.7	16,000	1.9	185.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　　―社（社名）　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	88,555,840株	2026年３月期	88,555,840株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,389,653株	2026年３月期	2,356,126株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	86,189,023株	2026年３月期中間期	86,185,629株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当期のわが国経済は、中東情勢の緊迫化により原油や石油製品の市況が高騰する中、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかに回復しました。世界経済は、全体としては持ち直しましたが、米国の通商政策の動向や中東情勢の影響などにより、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、本年度より経営計画「Mission2030」のフェーズ２をスタートしました。これは、2023年度に開始した経営計画「Mission2030」について、急激な事業環境の変化等をふまえた見直しを行い、2026年度から2028年度の３ヶ年を「フェーズ２」として、注力分野の選択と集中を進め、さらなる成長に向けた「稼ぐ力の再構築」と「新たな成長ステージへの基盤固め」に取り組むものです。

当中間連結会計期間の業績は、電子・先端製品を中心に販売数量が増加したほか、原燃料価格の高騰に応じた販売価格の見直しや、円安による手取り増により、売上高は2,087億21百万円と前年同期に比べ120億21百万円（6.1%）の増収となりました。収益面では、これらに加え、在庫影響による一時的な増益効果もあり、営業利益は247億９百万円（前年同期比149億69百万円増、153.7%増益）となり、経常利益は211億70百万円（前年同期比143億78百万円増、211.7%増益）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、期限を定めず暫定停止している米国の子会社デンカパフォーマンスエラストマー社に関わる特別損失を計上したことなどから、69億30百万円（前年同期比30億27百万円増、77.6%増益）となりました。

＜電子・先端プロダクツ部門＞

当部門の製品は、ＡＩ関連や電力インフラ向けの需要が引き続き拡大しました。球状シリカ、球状アルミナの販売は、ＡＩ向け半導体等の需要拡大に伴い、好調に推移しました。高機能フィルムも電子部品向けの需要が緩やかに回復し増収となりました。アセチレンブラックは、データセンター用途の定置型電池（ESS）向けの販売は増加しましたが、高圧ケーブル向けは中東情勢の悪化に伴う原料調達難により減産の影響を受けました。このほか、高信頼性放熱プレート“アルシンク”は、電鉄向けの需要回復や直流送電向けの需要増加により増収となりました。低誘電有機絶縁樹脂“スネクトン”の販売も堅調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は561億19百万円（前年同期比60億円（12.0%）増収）となり、営業利益は83億34百万円と前年同期に比べ20億28百万円（32.2%）の増益となりました。

＜ライフイノベーション部門＞

ＰＯＣＴ検査試薬は、市中在庫の調整が長期化したことから販売数量が前年を下回りました。その他の検査試薬の販売は、需要が緩やかに回復したほか、新たにカイノス社が連結子会社となったことにより、前年を上回りました。このほか、インフルエンザワクチンは、一部出荷時期のずれにより販売数量が前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は197億65百万円（前年同期比16億68百万円（7.8%）減収）となり、営業利益は21億56百万円と前年同期に比べ16億63百万円（43.5%）の減益となりました。

＜エラストマー・インフラソリューション部門＞

クロロプレンゴムの需要は概ね前年並みとなりましたが、高コストである米国子会社の製造設備を暫定停止しており収益性は改善しました。このほか、農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は増収となりましたが、特殊混和材の販売は工事遅れなどの影響により前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は481億49百万円（前年同期比17億29百万円（3.5%）減収）となり、56億87百万円の営業利益（前年同期は営業損失34億13百万円）となりました。

＜ポリマーソリューション部門＞

当部門の各製品は、原燃料価格の高騰に応じた販売価格の見直しを行いました。数量面では、新たに東洋スチレン社が連結子会社となり、ポリスチレン樹脂の販売が寄与しました。一方、デンカシンガポール社のＭＳ樹脂は需要回復が遅れており、前年を下回りました。またスチレンモノマーは定期修繕の実施に伴い出荷減となり、ＡＳ・ＡＢＳ樹脂の販売も前年を下回りました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品の販売は概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は767億39百万円（前年同期比113億20百万円（17.3%）増収）となり、営業利益は72億

11百万円と前年同期に比べ57億11百万円（380.6%）の増益となりました。

＜その他部門＞

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は79億47百万円（前年同期比19億１百万円（19.3%）減収）となり、営業利益は12億77百万円と前年同期に比べ１億92百万円（13.1%）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ370億40百万円増加の7,180億47百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ197億96百万円増加の2,798億72百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ172億44百万円増加の4,381億75百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ337億82百万円増加の3,759億62百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ32億58百万円増加の3,420億84百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.6%から44.0%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月13日に公表した2027年３月期通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。詳細につきましては、本日公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

１．2027年３月期　通期連結業績予想（自　2026年４月１日　至　2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	450,000	30,000	20,000	16,000	185.67
今回修正予想（B）	425,000	37,000	26,000	16,000	185.67
増減額（B－A）	△25,000	7,000	6,000	－	
増減率（%）	△5.6%	23.3%	30.0%	－	
（ご参考）前期連結実績（2026年３月期）	384,247	26,225	19,295	15,695	182.10

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（補足情報）

2027年３月期　セグメント別業績予想数値

（単位：百万円）

		期初予想（A）	今回予想（B）	増減額（B－A）
電子・先端プロダクツ	売上高	110,000	117,000	7,000
	営業利益	13,000	16,000	3,000
ライフイノベーション	売上高	45,000	40,000	△ 5,000
	営業利益	6,000	3,500	△ 2,500
エラストマー・インフラソリューション	売上高	105,000	100,000	△ 5,000
	営業利益	7,000	8,000	1,000
ポリマーソリューション	売上高	170,000	150,000	△ 20,000
	営業利益	2,000	7,500	5,500
その他	売上高	20,000	18,000	△ 2,000
	営業利益	2,000	2,000	－
合　　計	売上高	450,000	425,000	△ 25,000
	営業利益	30,000	37,000	7,000

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,270	31,195
受取手形、売掛金及び契約資産	88,299	93,594
商品及び製品	84,661	97,788
仕掛品	7,235	5,303
原材料及び貯蔵品	35,500	37,461
その他	9,367	14,812
貸倒引当金	△258	△283
流動資産合計	260,075	279,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,304	88,008
機械装置及び運搬具（純額）	106,783	106,794
工具、器具及び備品（純額）	5,264	5,390
土地	61,412	61,413
リース資産（純額）	3,424	6,327
建設仮勘定	78,997	92,085
有形固定資産合計	343,187	360,020
無形固定資産		
のれん	2,246	2,189
特許権	264	248
ソフトウエア	1,701	1,892
その他	841	732
無形固定資産合計	5,053	5,063
投資その他の資産		
投資有価証券	47,463	46,787
長期貸付金	980	908
退職給付に係る資産	9,032	9,176
繰延税金資産	6,822	6,885
その他	8,670	9,863
貸倒引当金	△278	△530
投資その他の資産合計	72,690	73,091
固定資産合計	420,930	438,175
資産合計	681,006	718,047

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,005	45,206
短期借入金	51,797	55,538
コマーシャル・ペーパー	20,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	150	15,200
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	7,520	5,393
未払消費税等	491	239
賞与引当金	3,647	3,896
その他	43,484	38,896
流動負債合計	185,096	202,370
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	124,766	117,926
繰延税金負債	5,341	5,897
再評価に係る繰延税金負債	8,524	8,524
退職給付に係る負債	1,895	1,876
株式給付引当金	141	122
その他	6,414	9,244
固定負債合計	157,083	173,592
負債合計	342,180	375,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,415	49,095
利益剰余金	174,127	176,744
自己株式	△7,716	△7,838
株主資本合計	252,825	254,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,258	13,539
繰延ヘッジ損益	760	961
土地再評価差額金	10,176	10,176
為替換算調整勘定	26,934	30,625
退職給付に係る調整累計額	5,752	5,498
その他の包括利益累計額合計	57,883	60,801
非支配株主持分	28,117	26,283
純資産合計	338,826	342,084
負債純資産合計	681,006	718,047

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	196,699	208,721
売上原価	152,003	148,796
売上総利益	44,695	59,925
販売費及び一般管理費	34,955	35,215
営業利益	9,740	24,709
営業外収益		
受取利息	169	134
受取配当金	414	514
持分法による投資利益	1,023	545
補助金収入	1	1,556
その他	466	392
営業外収益合計	2,076	3,144
営業外費用		
支払利息	1,136	1,321
固定資産処分損	1,001	605
操業休止等経費	1,613	2,343
為替差損	294	173
その他	978	2,239
営業外費用合計	5,025	6,684
経常利益	6,791	21,170
特別利益		
固定資産売却益	8,188	－
その他	540	－
特別利益合計	8,728	－
特別損失		
事業整理損	9,415	10,491
特別損失合計	9,415	10,491
税金等調整前中間純利益	6,105	10,679
法人税等	4,253	5,615
中間純利益	1,851	5,063
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△2,051	△1,866
親会社株主に帰属する中間純利益	3,902	6,930

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,851	5,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,375	△791
繰延ヘッジ損益	440	△33
為替換算調整勘定	△7,166	4,230
退職給付に係る調整額	42	△207
持分法適用会社に対する持分相当額	120	373
その他の包括利益合計	△3,187	3,571
中間包括利益	△1,336	8,634
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,120	9,848
非支配株主に係る中間包括利益	△2,456	△1,213

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,105	10,679
減価償却費	14,439	15,649
のれん償却額	9	56
賞与引当金の増減額（△は減少）	703	221
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△11	△513
貸倒引当金の増減額（△は減少）	51	262
受取利息及び受取配当金	△584	△649
支払利息	1,136	1,321
持分法による投資損益（△は益）	△1,023	△545
投資有価証券評価損益（△は益）	2	－
投資有価証券売却損益（△は益）	4	－
固定資産除売却損益（△は益）	△7,357	58
事業整理損	18	845
売上債権の増減額（△は増加）	△4,062	△4,075
棚卸資産の増減額（△は増加）	11,254	△12,673
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,729	1,071
その他	△1,664	△8,371
小計	13,291	3,333
利息及び配当金の受取額	987	769
利息の支払額	△1,130	△1,214
法人税等の支払額	△1,618	△6,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,530	△3,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,010	△28,354
有形固定資産の売却による収入	11,340	3
無形固定資産の取得による支出	△192	△430
投資有価証券の取得による支出	△80	△265
投資有価証券の売却による収入	91	111
子会社株式の売却による収入	318	－
その他	484	△281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,048	△29,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△10,934	6,561
長期借入れによる収入	23,640	7,355
長期借入金の返済による支出	－	△150
社債の発行による収入	－	20,000
社債の償還による支出	△15,000	－
自己株式の取得による支出	△2	△126
配当金の支払額	△4,313	△4,313
非支配株主への配当金の支払額	△100	△271
非支配株主からの払込みによる収入	7,781	1,702
その他	59	△2,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,130	28,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,672	568
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△8,059	△4,294
現金及び現金同等物の期首残高	37,002	35,270
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,943	30,975

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他事業(注)１	合計	調整額(注)２	中間連結損益計算書計上額(注)３
	電子・先端プロダクツ	ライフイノベーション	エラストマー・インフラソリューション	ポリマーソリューション	計				
売上高									
外部顧客への売上高	50,118	21,433	49,879	65,418	186,850	9,849	196,699	－	196,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	133	51	184	2,013	2,198	△2,198	－
計	50,118	21,433	50,012	65,470	187,034	11,862	198,897	△2,198	196,699
セグメント利益又は損失(△)	6,306	3,820	△3,413	1,500	8,214	1,469	9,683	56	9,740

（注）１．「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額56百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．地域ごとの売上高に関する情報

（単位：百万円）

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	111,110	53,862	31,726	85,589	196,699
連結売上高に占める割合（%）	56.5	27.4	16.1	43.5	100.0

（注）売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他事業（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	電子・先端プロダクツ	ライフイノベーション	エラストマー・インフラソリューション	ポリマーソリューション	計				
売上高									
外部顧客への売上高	56,119	19,765	48,149	76,739	200,773	7,947	208,721	－	208,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	137	63	200	2,286	2,486	△2,486	－
計	56,119	19,765	48,286	76,803	200,974	10,234	211,208	△2,486	208,721
セグメント利益	8,334	2,156	5,687	7,211	23,390	1,277	24,668	41	24,709

（注）１．「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額41百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．地域ごとの売上高に関する情報

（単位：百万円）

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	123,596	50,911	34,213	85,124	208,721
連結売上高に占める割合（%）	59.2	24.4	16.4	40.8	100.0

（注）売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。